

古墳がつくられた世の中は、どんなようすだったのだろう

① 「前方後円墳の分布図、各地の出土品」から気付いたこと4つ

- ・前方後円墳は、九州から東北までの日本各地にある。奈良県や大阪府には、大きな前方後円墳が多くある。
- ・熊本県や埼玉県古墳からは大和朝廷の王の名前が刻まれた刀剣が見つかった。
- ・古墳からは、きらびやかなくつが出土している。

② 勢いの強い「くに」について3つの観点から

どの地方か（大和（奈良県）） ・ 中心人物（大王） ・ のちの（天皇）

③ 政府の名前

大和朝廷（大和政権）

④ 渡来人について3つの観点から

いつごろ（古墳がつくられはじめたころ） ・ どこからきて（中国や朝鮮半島から来て）

何を伝えたか（はた織りや土器づくり、鍛冶、土木、建築などの新しい技術や紙、筆などの作り方、漢字や仏教などの新しい文化）

⑤ 大和朝廷の蘇我氏や渡来人との関係性

大和朝廷には、渡来人も朝廷の大事な役につけ、国内の技術や文化を高めた。

蘇我氏は、渡来人との結びつきを強めて、大きな力をもつようになった。

振り返りを3～5行で書きましょう！